

ワークシート1. さいがい ふせ ぎょうせい しせつ 災害を防ぐ行政の施設

ねん 年

くみ 組

なまえ 名前 (

教員用赤書き版)

しせつめい 施設名

もくてき 目的



ひもん 樋門

かせんぼうさい 河川防災ステーション

ていぼう 堤防

はいすいきじょう 排水機場・ポンプ場

あめ 雨がたくさん降って、小さい川から大きい川などへ水が流しきれなくなってしまう時などに、ポンプを使って強制的に水を流す施設です。

川や水路が大きな川に合流する所で、大きな川の水位が洪水などで高くなった場合に、大きな川の水が小さい川や水路へ逆流しないようにする施設です。

川を流れる水が安全に下流まで流れるように、川の左右に造られた施設です。

水害を防ぐための活動に必要なブロックなどの資材を備蓄しておくための施設です。普段は地域のレクリエーションなどにも利用されています。

ワークシート2. さいがいの災害を防ぐ行政の取り組み①

ねん年

くみ組

なまえ名前 (

教員用赤書き版

)

取り組み名

もくてき目的



すいぼうかつどう
水防活動

はいすいしせつ
排水施設・ポンプ場操作

かせん
河川パトロール

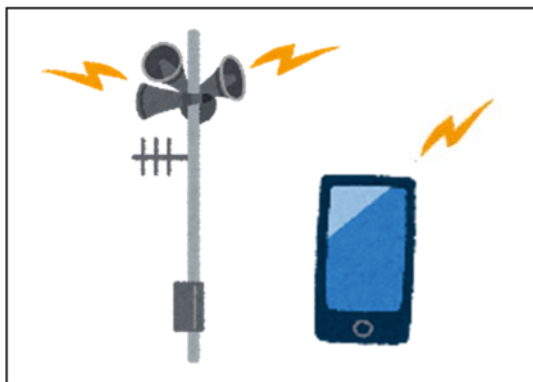
あめ雨がたくさん降って、小さい川から大きい川などへ水が流しきれなくなってしまった時などに、ポンプを使って強制的に水を流します。

川の水が「安全に流れているか」「堤防などに異常がないか」などを確認するために、河川パトロールカーでパトロールを行っています。

川の水があふれたり、堤防が壊れてしまったときに、川の水がそれ以上あふれたり、堤防が壊れないように手当てをします。

取り組み名

もくてき 目的



ひなんでんたつ 避難伝達

ひなんじょ かいせつ 避難所の開設

ハザードマップの作成 さくせい

あめ 雨がたくさんふるなど災害が起きる
きけん 危険がある時に、しょうがっこう 小学校など決められた場所を、ばしよ 住民などが避難して一時的に生活する場所として利用できるようにします。

かわ 川の水があふれたり、ていぼう 堤防が壊れて街がしんすい 浸水するようなきけん 危険な状態になる前に、じゅうみん 住民などがあんぜん 安全に避難できるように、ひなん 避難指示などのじょうほう 情報を出します。

こうずい 洪水などしぜんさいがい 自然災害が発生した場合をそうてい 想定して、ひなん 避難する場所やばしよ 水害が発生する場所をばしよ 色わけしてしめ 示している地図のことです。

くに けん し すいがい ぶせ と ぐ こうじょ 国・県・市などの水害を防ぐ取り組み「公助」

わたし まち すいがい ぶせ しせつ 私たちの町には水害を防ぐ施設・取り組みがいくつもあります。



一般財団法人消防防災科学センターHP http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drdsb_photo/photoSearch.do

きょう じゆぎょう まな さいがい 今日 授業で学んだ「災害を防ぐ行政の取り組み」を通して、わかったことをまとめましょう。

堤防をつくって洪水に

備えている。

川の水があふれたり、

堤防が壊れてしまった

ときに、川の水がそれ

以上あふれたり、堤防

が壊れないように手当

てをしている。